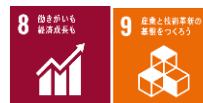


株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

「京銀未来ファンド2号」第21号案件への投資について ～先端AI技術を活用したソリューションを提供する「株式会社 データグリッド」へ投資～



京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、グループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 竹中 伸一）と共同で設立した「京銀未来ファンド2号」は、第21号投資案件として、「株式会社 データグリッド」へ投資いたしました。これにより「京銀未来ファンド1号」および「京銀未来ファンド2号」での投資先は、36社となりました。

「株式会社 データグリッド」は、「すべてのデータに、命を与える」をミッションに掲げ、デジタル社会で急増するデジタルデータやコンテンツを生み出すAIソリューションを提供する京都大学発のベンチャー企業です。2017年の創業以来、シンセティックAI[※]の技術開発を行い、通信、製造業、教育、アパレル、エンタメ、ゲームをはじめとする数多くの企業とのプロジェクトを実施してきました。さらに業界の幅広いニーズに応えるべく、パーソナル試着といったAIプロダクトとして展開を開始しています。

京都銀行グループでは、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等への投資を行い、持続可能な経済成長の実現に向けて、地域の発展と成長に貢献してまいります。

※デジタルヒューマンやAIトレーニングデータといった合成データ（シンセティックデータ）を創り出すAI

記

1. 投資先概要

企業名	株式会社 データグリッド
代表者	代表取締役CEO 岡田 侑貴
所在地	京都市左京区吉田本町36番地1 京都大学国際科学イノベーション棟
設立	2017年7月
事業内容	シンセティックAIを活用したソリューションの共同開発およびAIプロダクトの提供

2. 投資額

12,404,935円

3. 投資について

本件投資により、「株式会社 データグリッド」は、シンセティック A I の技術開発および新規事業開発を行う。

4. 京銀未来ファンド2号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド2号)
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く企業で、独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業・中小企業等
出 資 者	無限責任組合員 (G P) : 京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員 (L P) : 株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円
当行出資額	19億80百万円
設 立	2019年2月25日
存続期間	10年(ただし、合意により2年間の延長可能)

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践である SDGs 達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標である SDGs のアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

